

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察技術情報について

令和 7 年度病害虫発生予察技術情報第 10 号を發表したので送付します。

令和 7 年度病害虫発生予察技術情報第 10 号

ウリ科およびナス科野菜におけるウイルスを媒介する微小害虫対策について

ウイルス病を媒介するアザミウマ類やアブラムシ類、コナジラミ類などによる生育初期の被害は、その後の生育・収量に大きな影響を及ぼすため、防除対策を徹底しましょう。

1 生態および媒介するウイルス

(1) ミナミキイロアザミウマ

成虫の体長は雌 1.2～1.4mm、雄約 1.0mm で、体色は雌雄ともに黄色である(図 1)。寄主範囲は広く、ウリ科やナス科、マメ科など様々な作物を加害し、イヌビユ、アレチノギク、テリミノイヌホオズキ、スベリヒユなどの雑草にも寄生する。

本種は葉や果実を吸汁加害し、葉ではかすり状の食害や新葉の萎縮、果実ではへたとの隙間に潜み、かさぶた状やすじ状の被害を引き起こす。その他、スイカ灰白色斑紋ウイルス(WSMoV)、メロン黄化えそウイルス(MYSV)等を媒介する。

WSMoV：ゴーヤーでは葉に明瞭な輪紋症状等を生じ(図 2)、株は萎縮し、生育不良となる。スイカでは果実の奇形や果実表皮に白色斑点が現れることがある。

MYSV：きゅうりでは葉に黄色斑点やえそ症状が現れ、果実が奇形となる。また、WSMoV と混合感染する場合がある(図 3)。

(2) アブラムシ類

国内では 700 種以上が知られているが、本県のウリ科およびナス科野菜では、ワタアブラムシやモモアカアブラムシが問題になることが多い。

ワタアブラムシ雌成虫は体長 1.4～1.6mm、体色は黄色～黒緑色で(図 4)、ウリ科、ナス科、キク科など多くの作物に寄生する。

モモアカアブラムシ雌成虫は体長 1.8～2.0mm、体色は白色～黄色～緑色、桃色～赤褐色で(図 5)、アブラナ科、ウリ科、ナス科などに寄生する。

アブラムシ類は年間多くの世代を繰り返し、高密度になると有翅虫が出現し、移動分散する(図 6)。

吸汁害によって葉巻きや新葉の萎縮、芯止まりを引き起こす他、ズッキーニ黄斑モザイクウイルス(ZYMV)やパパイヤ輪点ウイルス(PRSV)、キュウリモザイクウイルス(CMV)およびピーマン葉脈黄化ウイルス(PVYV)等を媒介する。

ZYMV：かぼちゃでは新葉に奇形やモザイク症状(図 7)、奇形果などの症状を示す。

PVYV：ピーマンでは葉脈の黄化(図 8)や葉巻症状、奇形果を生じる。育苗期に感染すると、生育が進むにつれ症状が激しくなり収量が低下する。

(3) タバココナジラミ

成虫の体長は0.8～1 mm、翅は白色、体は淡黄色である(図9)。幼虫は淡黄色～黄色である(図10)。本種の寄主範囲は広く、ウリ科、ナス科、マメ科を含め500種以上にのぼる。施設栽培で多発生することが多い。

本種は吸汁による生育阻害や、排泄物に発生するすす病等の被害を引き起こす他、トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)等を媒介する。

TYLCV：トマトでは上位葉の激しい黄化、葉巻、萎縮などの症状がみられ、生育が停滞し、収穫不能となる(図11)。

2 防除対策および注意すべき事項

- (1) 定植前に、病害虫の発生源となるほ場内外の雑草を除去する。また、ほ場周辺の管理されていないウリ科やナス科の作物等は、ウイルス病の伝染源となるので速やかに処分する。
- (2) 露地栽培では、防風ネットの設置や、防虫ネットによるトンネル被覆で害虫の飛来侵入を防止する。カボチャ栽培では、防風対策をかねてほ場周辺をネットやソルゴーで囲うことや、シルバーテープを場内に張ることでアブラムシ類有翅虫の飛来を防止する。
- (3) 施設栽培では、施設内への侵入を防ぐため、出入口は開放せず、施設の開口部には目合いの細かい防虫ネットを展帳する。近紫外線除去フィルムや施設周辺への光反射シートの設置も害虫の侵入防止に効果的である。
- (4) 定植時には、害虫が寄生していない健全苗を用い、粒剤等を施用する。
- (5) 黄色粘着テープの設置等により、これら害虫の早期発見に努める。
- (6) これらの害虫は薬剤抵抗性を発達させやすいため、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系薬剤や微生物農薬も含めたローテーション散布を実施する。
- (7) ウイルス病の感染が疑われる株を発見したら、速やかに株を抜き取り、ビニール袋などに入れてほ場外に持ち出し処分する。



図1 ミナミキイロアザミウマ成虫



図2 WSMoVによる輪紋症状(ゴーヤー)



図3 MYSVとWSMoV混合感染(キュウリ)



図4 ワタアブラムシ雌成虫、幼虫



図5 モモアカアブラムシ雌成虫、幼虫



図6 アブラムシ類有翅虫



図 7 ZYMV によるモザイク病 (カボチャ)



図 8 PVYV による葉脈黄化病 (ピーマン)



図 9 タバココナジラミ成虫



図 10 タバココナジラミ幼虫



図 11 TYLCV による黄化葉巻病 (トマト)

★詳しくは県病虫害防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL: (本所)098-886-3880、(宮古駐在)0980-73-2634、(八重山駐在)0980-82-4933

ホームページアドレス : <https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/nogyo/1010700/index.html>

